

目標達成計画

作成日: 令和2年3月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	(ボランティアの受け入れについて) 催し物等ボランティアは地域交流スペースで、1部署だけでなく全部署の方が参加できるシステムにしている。	施設に入って頂く、少人数制のボランティアを受け入れてゆく。	知人や運営推進会議での声掛けやボランティアセンターの活用	12ヶ月
2	11	(職員の意見の反映に関して) ミーティングを月に一度行い、意見を聞いている。日頃からコミュニケーションを図り話しやすい関係を作っている。	入所者にとってより快適な生活環境となるよう、また職員にとって働きやすい環境となるように話し合える環境を整えてゆく。	ミーティングで意見や改善策等を話し合える時間を設け、グループホーム全体の課題となる内容のものは、管理者が把握し必要に応じ、主任会議等経営層との話し合いの場で意見や提案ができるようにしている。	12ヶ月
3	35	(災害・防火対策に関して) 月に一度の勉強会、3月・9月の避難訓練、3月の消火訓練を実施している。	地震と火災に備えた避難方法を全職員で共有できるようにしていく。2m以下の火は消火できるよう消火訓練に参加して頂く。職員誰もが的確な初期消火を実施することができるよう消火訓練には多くの職員の参加に努める。	地震時と火災時の対応マニュアルを会議等利用し、職員間で共有できるようにする。消防士立会いの訓練では、消火器等の使い方についても含め知識を得られるようにする。運営推進会議等で近隣住民との交流も図れるように努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。